



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：井指光基 幹事：山城康司 SAA：笠原盛泰 会報委員長：小野喜明
 事務局：豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 Tel0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoire@sala.or.jp

本年度31回 通算第1057回 平成20年2月26日(火) 雨

ゲスト ガバナーノミニー 大澤輝秀さん
 ビジター (なし)
 出席報告 宮崎眞一委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	2/12修正出席率
55名	48名	31名	62.5%	100%

司会進行 笠原盛泰SAA

★会長の挨拶及び報告 井指光基会長



こんにちは。ガバナー事務所から「新会員推薦バッジ」が届きました。本年度に入会された新会員の推薦

者に贈られます。水野会員、山城会員、永田会員です。おめでとうございます。



月にアメリカ・ロサンゼルスで国際大会がありまして、大澤ガバナーノミニーが正式にガバナーエレクトに指名されます。豊川RCで出掛けますので、豊川宝飯RCの皆さんも是非一緒にお出掛けいただければとPRに参りました。

この5月の大澤ガバナーの事務所が会議所3階に開設をします。事務所のほうに是非お寄りになって、一緒に大澤ガバナーを盛り立てて頂ければと思います。よろしくお祈りします。ありがとうございました。

★幹事報告 山城康司幹事

例会臨時変更のお知らせ
 豊川・豊橋東・新城・豊橋南・豊橋北
 田原パシフィック

★卓話「OSGフェニックスの話」

ガバナーノミニー 大澤輝秀氏

皆様こんにちは。昨年の11月19日に、皆さんからたくさんのお応援を頂いて地区大会でガバナーノミニーになりました。そうこうしているうちに早三ヶ月が経ちました。皆さんもご記憶かと思いますが、その時の頭と違って、今は会長の井指さんと比べたらはるかに髪があります。(笑)



★豊川RC森久宏さんPR

こんにちは。2009～2010年度の大澤ガバナーの事務局長を仰せつかりました。本日は国際大会の参加PRに来ました。6



試合が予定されていまして、我がOSGフェニックス東三河は、あと一つ勝つとプレーオフが決まるということになっていました。初日に負けてしまって、しかしその日のうちに、可能性のあるチームが負けたので土曜日の時点ではプレーオフ出場が決まっていたのですが、でも日曜日の試合に勝ってもらわないと、負けてお祝い気分では、昨年のジャイアンツみたいで、ペナントを取ったといっても、特に愛知県の人には中日ドラゴンズが勝ったとしか思いませんよね。それと一緒に勝ってほしいなと思って応援に行きました。ここに見える方も何人か会場でお会いしました。豊橋の総合体育館はじまって以来の観客になりました。中日新聞の三河版にも「JBL豊橋大会・観客3千人・赤一色」と掲載され、地元の東愛知新聞にも「JBL地元最終戦を勝利で飾る」大きく掲載されました。アイシンが現在25勝でダントツ。OSGが20勝13敗ということになりました。トヨタが19勝14敗で3位。三菱電機が4位。パナソニックが三菱電機に1ゲーム差で5位です。その下に日立、東芝、レラカムイになります。リーグ戦も今週末で終わりです。OSGは金曜日と土曜日に日立と対戦します。プレーオフは、1位と4位が対戦し、2位と3位が対戦しますので、OSGはトヨタと対戦することになりました。3月15、16、17日の3日間あり、それに勝つとファイナルが3月20日から26日まであります。なんとかファイナルに出て有終の美を飾ってbjにと、考えております。

この豊川宝飯クラブには、私の弟が所属していて、バスケットに非常に熱心です。私もそうですが、彼の場合は私よりもランクが上です。バスケットをもっと知っているということです。ファンのレベルでは私の方がはるかにレベルの高いファンです。弟は高校時代にインターハイに出ているので、バスケットでも一応一流選手です。私は何でもやりまして一番長くやったのは野球です。あとシカゴにいる弟は国府高校でバスケットをしまして、ブラジルにいる弟は豊橋東高校でバスケットをやっていました。東高校は毎年インターハイに出場していまして、弟が3年の年は準優勝をして、当時は名門高校で、記憶している方もあるかもしれませんが、後藤という195センチぐらいある大きな名監督がいて、豊橋東高校を引き連れて、当時はインターハイ常連でした。チームスポーツは監督

次第というのが実情だと思います。プロ野球も同じで、監督が悪かったらどんなに良い選手を集めても使いこなせず、もし今年の巨人で原監督が優勝できなかったら、監督のせいであり、マネジメントのせいだと思います。どっちの責任かといえば、当然マネジメントだと思います。監督の選ぶのもマネジメントだし、選手を集めてくるのもマネジメントの仕事ですから。

今度、OSGが何故bjかという話ですが、お手元の資料を読んで頂く



とbjのことがよくわかります。JBLとbjの違いをわかりやすく言いますと、よく世の中のことを55年体制と言いますね、すなわちJBLは55年体制そのままです。bjというのは55年体制の中でプロ化を目指そうとしています。なぜプロ化かは、これは国民の願いなのですが、オリンピックでなんとか勝とうとか、オリンピックに出場しようとか国民は期待をします。ところが、どの国も過去30年の間に、アメリカは50年以上前からですが、この30年間にあらゆる国がプロ化している訳です。皆さんも新聞でご存知だと思いますが、水泳選手も陸上選手もプロ化しています。プロという大変厳しい環境で練習をしてライバルに勝とうという意識の高いレベルの練習をやらない限り、強いチームにはなりません。親方日の丸で、いくら練習をしても最後はかなわないというのが、プロとアマの違いだと思うんです。日本のスポーツ界の55年体制と言われる一番の背景は、文部行政ですね。文部省が全部仕切って、天下り先をつくる発想ですから、結局は学校の教師から60歳定年になって、協会の役員になれるようにしたのが文部省のやり方なんですね。ですから、日本バスケットボール協会は、新聞でもご存知でしょうか内紛が起こっています。この一番の原因は、権威の力だけでリーダーをやっているからです。今から2年前に世界選手権が日本で開かれました。その時に広島に8000人ぐらい入れる会場が出来て、浜松にも8000人ぐらい入れる会場が出来ました。仙台にも北海道にも同じような会場ができました。もっと

大きいのでは埼玉スーパーアリーナができ、予選を広島、浜松、仙台、北海道でやり、決勝を埼玉で行うようにしました。しかしマネジメントが良くないので、観客動員のことなんて何も考えずに会場を用意しました。私も将来のことがあるので、浜松のアリーナを見に行きました。それは大変立派なアリーナで、外国チームが6チームぐらい集まってリーグ戦をやっていました。日本は広島会場で行っていました。その時に観客動員とテレビをうまく売り込むことが出来ず、すごい赤字を作っていました。数字で言うと13億の赤字だと言われていますが、これをどのように処置をするのかということで、評議委員会が通らなく、何回も評議委員会が行われ、最後は審議もされなくなってしまいました。いわゆる協会役員が評議委員の数を自分たちの都合が良いようにしまして、みんなの不信感をかいて、未だに宙に浮いた形で、結局は県の協会の負担になるのかと思います。Jリーグの例で言いますと、Jリーグは川渕チェアマンが大変しっかりした運営をしていまして、Jリーグも初めは少し躓いたこともあったけれども、今は素晴らしい組織になり、ナショナルチームなどのいろんな大会をやりまして、テレビなどの収益がリーグの本部に入り、その収益をジュニアの育成や世界選手権の派遣費などにします。マネジメントが良くないと、結果的には経営ですから潰れてしまうと一緒で、現在の日本バスケットボール協会です。なぜ55年体制化というと、文部省が補助を出せる間は通用したのですが、今のように借金大国になると、補助が切られてしまって、役人の世界も政治の世界も、ありとあらゆるところで55年体制が続いています。これは企業でみても、それに近いような、なんとなく国に頼るという姿が、いろんなところで垣間見ることができます。

このバスケットでbjにOSGが行こうというのは、これからプレーオフに出掛けていって決勝戦までいくとさらに8試合増えるわけですね。それで選手の滞在費から移動費から経費が増えていくわけです。コストが上がってくるわけです。一方でここまでくると広告宣伝的に考えると、この8試合はNHKの衛星テレビで放送がされるので、大きく取り上げられるので、プラス、マイナスで考えるといろいろありますが、うちの場合は3億円ぐらい経費が掛かっているわけです。今の場

合ですと、たとえば豊橋で試合をやりまして、豊橋のバスケットボール協会が1試合いくらかという形で買い取ってしまいます。そして豊橋のバスケットボール協会がチケットを売って、収入は協会に入って、OSGの収入は1試合いくらかで買ってくれたかの金額で、どんなに観客動員に努力をしても変わらない。ところがバスケット協会は観客が増えれば収入が増えます。結局マネーメーカーとしては、プロ化をしていない人気スポーツは協会にとってはありがたいのです。今回、OSGがプロになると言ったら、豊橋の協会からお叱りを受けました。実際、豊橋の協会は何もしないのです。権利の上にあぐらをかいているだけなのです。何もしないけど、収入源を断たれるというスタイルになるわけです。プロ化に待たがかかりましたが、こちらは3億掛けてプラスになるのは何かと考えた時、実は広告宣伝しかないわけです。うちの製品は、実はPRをしてもさほどの意味は無いです。たぶん私の弟がお話をしたかと思いますが、今から40年前に彼が入社した時、OSGにはバスケット部が無かったわけです。「バスケットもない会社に俺は働いておれん」と言って、中学や高校でやっていた連中を集めてバスケット部を作って始めたのがスタートです。以来、仲間の先生から高校でバスケットをやっていた子を入社させたりしました。最近では高校出身では、とてもJBLでは戦えません。中には川村拓也という高卒のままJBLに入って大活躍をしている。いま彼がNo.1ぐらいでしょうか、まだ21歳ですが、OSGに盛岡南高校を卒業して、そのまま入ってきました。彼は「俺はバスケットが大好き。バスケットがやればハッピーなんで、将来はNBAに行きたい。一番強いところで練習をやっていなければ上手くなれないからJBLのチームでやりたい」と言って大学を拒否して入ってきました。高校生のときから日本代表の選手になっていました。とにかく彼のことをシューティングマシーンと言いまして、大変シュート能力の高い選手です。だんだんと大学出身の選手でなければ通用しないようになっていきます。毎年大学生が卒業する時に、10名ぐらいの選手がJBLの争奪戦によって入ります。我々としては、大会社と争奪戦をしても勝てませんので、bjでバスケットの大好きなヤツを集めて、うちの社員として、半分仕事して、半分プロとして、浜松を主体にして

やってみよいというのがb j へいく背景です。そうしますと、自分たちのOSGのという名前がなくなって「浜松フェニックス東三河」という形になり、そこで努力したものがチームの収入になるわけで、選手にとっても大変プラスのことが今後は期待できます。強くなればマスコミも注目してくれるだろうし、観客動員が増えれば収入も増えるだろうと思います。OSGの経営から一応離れますが、じゃあOSGは何もしないのかと言いますと、そんなことはありません。当然の事ながら子どもを生んだ親みたいなものですから、ちゃんと育つように応援していくというのが私の立場であります。今後も「浜松フェニックス東三河」しっかり応援していきますので、皆様方にも4月1日以降、新聞等で発表していきますので、いろいろとご協力をお願いします。今日はありがとうございました。

★ニコニコボックス

◎その他

大澤輝秀さん	フェニックスの話をしませ
森久 宏さん	世界大会に参加を
廣田啓司会員	同好会2位を頂き
夏目雅康会員	同好会3位を頂き
伊原良碩会員	入会記念日を祝って頂き
大島嗣雄会員	所要にて途中退席します
笠原盛泰会員	〃
大澤輝秀さん	御礼をニコボックスに 頂きました。

★ゴルフ同好会コンペ結果

3月21日に平尾CCにてゴルフ同好会コンペを開催しました。今回は豊川RCとの合同のコンペも兼ねて行いました。

☆合同コンペ結果

優勝	鈴木健雄	Gross80 HdcP8.4 Net71.6
準優勝	山本 学	Gross84 HdcP12 Net72
3 位	廣田啓司	Gross88 HdcP14.4 Net73.6

☆同好会コンペ結果

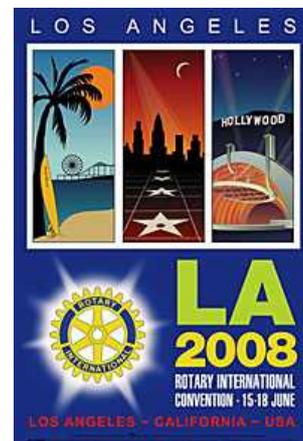
優勝	鈴木健雄	Gross80 HdcP11 Net69
準優勝	廣田啓司	Gross88 HdcP15 Net73
3 位	夏目雅康	Gross86 HdcP12 Net74

ロータリー豆知識

国際大会について

毎年5月か6月に国際ロータリーでは世界全体の年次大会を開催して、「国際レベルでロータリアン全員を励まし、鼓舞し、活気づけ」を行います。この国際大会は、同じ国で2年続けて開かれることはないが、交友という重要な事を行う例年の会合です。その開催計画の立案は通常4~5年くらい前に始まります。開催地の選定に当たって、国際ロータリー理事会が大体の開催地域を決め、その地域内の複数の都市に開催申し込みを呼びかけます。国際大会は本当に国際的な行事で20,000人から35,000人のロータリアンとゲストが参加します。楽しい行事である他に、国際大会は、ロータリアンに休暇旅行の比類の無い機会を提供します。

今年度はアメリカ・ロサンゼルスで6月14~20日まで開催されます。予定としては、2008-09年度はイギリス・バーミンガムで、2009-10年度はカナダ・モントリオールで、2010-11年度はアメリカ・ニューオリンズ開催されることが決まっています。



上記が今年の公式パンフレットです。

会報担当者：小野喜明会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。